別記第1号様式（第8条の9関係）

深夜勤務・時間外勤務制限請求書

|  |
| --- |
| 請求年月日　　　　　　年　　月　　日　　　　　村長　　　　　　　　様次のとおり　　　　　のため　　　　　　　　　の制限を請求します。請求者　　所属　　　　　　　　　職名　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　印 |
| 1　請求に係る子又は要介護者 | 氏名 |  |
| 続柄 |  |
| 生年月日 | 　　　 年　 月　 日生（□　出産予定日） |
| 養子縁組の効力が生じた日 | 　　　 年　 月　 日 |
| 2　同居の親族（16歳以上）の有無及び状況 | □深夜において就業している　(深夜勤務の制限を請求する場合で、該当するときのみ記入)□就業している(時間外勤務の制限を請求する場合で、該当するときのみ記入)□負傷、疾病、身体上又は精神上の障害により養育又は介護が困難である□産前6週間又は産後8週間以内である□上記いずれにも該当しない（養育又は介護ができる） |
| 3　要介護者の状態及び具体的な介護の内容 |  |
| 4　請求に係る期間 | 深夜勤務の制限 | 　　　　 年　　 月　　 日から　　　　 年　　 月　　 日まで | □　毎日□　その他（　　） |
| 時間外勤務の制限 | 　　　　 年　　 月　　 日から□　1年　　□　1年に満たない期間（　　月） |
| (注)①子を養育するために深夜勤務の制限を請求する場合には、当該請求に係る子が満6歳に達する日以後の最初の3月31日以前の日を制限終了日として請求すること。②「生年月日」欄は、請求に係る者が子である場合のみ記入すること。なお、請求に係る子が請求の際に出生してない場合には、「生年月日」欄に出産予定日を記入し、□出産予定日にレ印を記入すること。③請求に係る子が養子の場合は、「養子縁組の効力が生じた日」欄にその日を記入すること。④「同居の親族（16歳以上）の有無及び状況」欄は、同居の親族が複数いる場合には、同居の親族の状況についてそれぞれレ印を記入すること。なお、複数の同居の親族が同一の項目に該当する場合には、適宜余白を利用してその旨を記入すること。⑤「就業している」とは、就業日数が1月に3日を超えることをいう。 |

□深夜勤務

□時間外勤務

□養育

□介護

□有　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□無